

ココキタ 通信 (仮) VOL.1



2018.10

発行：ココキタ
(東京都北区豊島 5-3-13)

TEL : 03-6338-5711

E-mail : kcf_bunkasinkou@kitabunka.or.jp

TAKE FREE!!

このフリーペーパーの タイトルを募集します!

【募集期間】10月上旬から中旬

【応募窓口】ココキタ 1階受付

【対象】ココキタを利用している中学生以上

応募した方には
お気持ち (粗品)
プレゼント!

呼びやすく愛着のあるネーミングお待ちしております!

ココキタって?

旧豊島北中学校の校舎を改修してオープンした文化芸術活動拠点。音楽、美術、演劇、ダンスなど文化芸術を目的に部屋を借りて活動できます。

レジデンスアーティスト、アーティストバンクなどアーティストが集う場でもあります。

~中高生対象レベルアップワークショップ特集~

この夏ココキタで行われたワークショップと講師のアーティストを紹介します!

吹奏楽強化ワークショップ~楽器編~

12月26日は
アンサンブル編
開催!

夏休み終盤、吹奏楽に青春を賭ける中高生 (全9パート71人) がココキタに集まりました。

講師はココキタでもよく練習している東京藝術大学出身のグループ「アンサンブル・ルヴァン」。

朝から夕方まで丸一日かけて、楽器の持ち方や姿勢、吹き方など楽器のキソのキソから見つめ直しました。



クラリネットの替え指についてレクチャー。



個人個人への指導で癖などを見つけていきます。

アンサンブル・ルヴァン代表

今回の
WS 講師

ユーフォニウム奏者

兼清颯さん



—普段はどのようなところで活動されていますか?

年に1回の定期演奏会のほか、小・中学校の鑑賞教室や、銀座にあるレストラン「俺のフレンチ TOKYO」で演奏をしています。あまり音楽の演奏を聴く機会がない人たちにも楽器や音楽の楽しさが伝わるような進行を心がけています。

—今回のワークショップ (以下WS) の感想を教えてください。

1パート (1楽器) ごとが少人数だったので、僕たちが中高生一人一人に向き合うことができ、中身の濃いレッスンができました。最後は課題曲を全員で合奏することで「音を通しての交流」ができ

たのもよかったですね。

—今後の活動予定は?

10月中旬には、北区の小学校でスクールコンサートがあります。

「俺のフレンチ TOKYO」での演奏は、次回は10月27日。レストランで食事をすれば聴くことができるので、ぜひディナーでいらしてください!

12月には名古屋の「アッセンブリッジナゴヤ」というフェスティバルに出演予定です。水族館の大きな水槽の前で演奏します。

演奏依頼や管楽器や打楽器の楽器指導については、どなたでもお気軽にご相談ください。

みんなで作るストリートダンス ワークショップ in ココキタ

8月中旬から下旬の合計7日間、ストリートダンスに興味のある中高生7人が参加しました。

ダンサーネームを付けるところから始まり、ハウス、ロック、ロボットなど最初は慣れないダンスもどんどんコツをつかんでいきました。最終日には本格的な舞台空間の中、4曲計15分のダンスをお客さんの前で発表しました。



テンポの速い曲の振付を必死に覚えていきます。



照明とプロジェクターの明かりの中本番です。

今回の
WS 講師

振付師
木皮成さん



—普段はどのようなお仕事をされていますか？

多摩美術大学の非常勤講師をしながら、映像コンテンツの振付や、ダンサーのキャスティングの仕事をしています。ダンサーとして出演することもあります。元々は恥ずかしいタイプですので控えています(笑)。一般向けのWSなどの仕事も多いのが他のダンサー・振付師の方と違うところでしょうか。

—今回のWSの感想を教えてください。

少人数でのWSだったので、それぞれの個性が見えて、発表のとき一人一人の見せどころを作れたのがよかったです。ダンス未経験の子もいる中で、リズムを取るのが苦手な子がいなかったことには驚きまし

た。生活の中でダンス楽曲を聞き慣れていて、YouTubeなどの動画を見ることが出来る「ダンスネイティブ」の世代の子達が今の中高生なのではないかと実感できたのも面白い発見でした。

—今後の活動予定は？

フェスティバルトーキョーのオープニング作品『MI(X)G(ミックス)』にダンサーとして出演します。今回のWSでアシスタントだった根本和歌菜さんもお手伝いいただきます。10月13日、14日それぞれ15時から場所は南池袋公園。無料なのでぜひ見に来てくださると嬉しいです。ココキタから池袋まではバスで一本ですから(笑)。



アニメ監督の谷田部勝義さんによる熱い演技指導。



緊張しながらも人生初のアフレコ収録。

チャレンジココキタ声優教室

7月下旬の3日間、33人の中高生が参加しました。

最初のアフレコでは映像と声のタイミングが合わず、プロの声優さんによるお手本との差に愕然としましたが、3日間の指導で声が出るようになり、上達していきました。アニメだけでなくゲームアフレコにも挑戦し、最終日は実際に収録も行いました。

音響監督

劇団まごころ 18 番勝負主宰
松本ゆきをさん

今回の
WS 講師



—音響監督について教えてください。

アニメやゲームの“音”(セリフ・音楽など)の演出をしています。例えば声優に対して演技について要求したり、音楽家に対してBGMで使う楽器の種類や曲の雰囲気や伝えたり…。視覚以外を担うので、作品のイメージを左右する重要なポジションです。

最近はスマートフォンのアプリゲームに携わっています。ゲームが人気なのはうれしい反面、作り手はかなり忙しいですね。

—今回のWSの感想を教えてください。

ほとんど初対面の中高生の皆さんが

息を合わせてアフレコを楽しんでもらえるか心配していましたが、あっという間に仲良くなり、休憩時間や終了後もアニメやゲームの話で盛り上がっていました。学校以外で同じ趣味の仲間が作れる場を提供できたことはとても有意義でした。

皆さんの学ぶ意識も高くまっすぐに表現してくれたので、教える側もとても楽しかったです。

—今後の活動予定は？

主宰劇団の「まごころ 18 番勝負」では来年春に演劇を用いたエンターテインメントを企画中です。